

令和7年度

No	ご意見要旨	回 答（市の考え方）	業務担当課
1	<p>医師会HPは、津波被害の出ない場所に 移転してください。</p>	<p>宇佐高田医師会病院の移転場所については、現在、宇佐市医師会が検討 しています。宇佐高田医師会病院は災害拠点病院であることから、市と いたしましても、いただいたご意見を医師会にお伝えいたします。</p>	健康課
2	<p>未就学児～高校生までの様々な助成金に ついて見直しがされ、サポートを受けれ るようになってきているのはわかるので すが、小学校や中学校、高校に上がる節目 には、揃えるものが多く大きな金額が必 要になります。 前年度の5万円ではなくても、金額が減 っても良いので入学祝金を出してほしい です。物価高、増税により、生活は（ど んどん）しくなっています。 市民の声をしっかり聞いて取り組んでも らいたいです。</p>	<p>市がこれまで子育て支援施策として実施してきた「すくすく子育て祝金 事業」は平成28年度より開始し、金額の増額や対象者を拡大しながら 子育て世帯の経済的支援に努めてきました。 現在、本市では他にも市の独自事業として、保育料や学校給食費の無償 化、子ども医療費助成など、様々な子育て施策を実施しています。国に おいても昨年10月以降、制度改正を行い第3子以降の児童手当を3万 円に増額、高校生も児童手当の対象に拡大するなど、経済的支援も拡充 していることから、本事業については一定程度の役割を果たしたと判断 し、終了することとしたものです。 頂いたご意見を参考に、今後も新たな施策を検討し、更なる子育て支援 施策の充実に努めてまいりたいと思いますので、何卒ご理解のほどよろ しくお願い致します。</p>	子育て支援課
3	<p>市からの防災無線等、屋外での放送が聞 き取りづらい事が多くあります。その時 は、聞き取れたとしても後々確認しよう としても確認出来ない事が多いです。 市の公式LINE等を活用する事でもっと 多くの市民に届くと思いますし、内容の 確認や振り返りが出来るので把握出来 ると思います。 中津市の公式LINEはそのように活用さ れているようです。 ご検討のほどよろしく申し上げます。</p>	<p>市では地域防災計画に基づき、防災情報などの伝達業務に使用すること を主な目的として防災行政無線を整備しています。屋外拡声局からの放 送については、風雨の影響や家屋の気密性の向上などにより、聞き取り づらいことがあります。 そのため、戸別受信機（留守番録音機能有）や防災行政無線電話応答サ ービス（無料）により、内容の再確認が出来る仕組みで運用を行って います。 また、避難指示や避難所開設など緊急避難情報等については、Lアラ ートを活用しテレビ・ラジオなどのマスメディア、エリアメールや防災ア プリアなどにより情報を発信し、併せて市公式LINEでも発信してい るところです。 ご指摘の「防災行政無線と市公式LINEの連携について」ですが、一 般行政放送のLINE発信については、他市の運用状況等の調査研究を 行い、庁内関係課と協議を行って参ります。 何卒、防災行政無線の運用にご理解を賜りますようお願い申し上げ ます。</p>	危機管理課

		参考 防災行政無線電話応答サービス 080-0200-2722 (通話料無料)	
--	--	---	--